

花卉栽培は技術も大事だけれど、デザインやニーズなどにあわせていかに愛情をかけるかがポイント



出荷までに種子から育てると1年かかります。1鉢の販売単価は3800円(小売価格)位。現在もブームが続いているので、定番商品になっていて、一番多く栽培しています。マルヨシグリーンのモンステラは品質が良いと定評があります。



鉢物は培養土が重要なポイント。



EM販売店の山本屋(田原市野田町)では、花卉農家が集まって勉強会を開催。土づくりへのEMの活用について、熱心に質疑応答がなされました。

【活動紹介】

渡辺さんは家業を父親から引き継いで7年目。高校を卒業してから、市場で研修をしていた時、生産者とお客様である花屋さんの両方の話が聞けたのが良い経験になっているそうです。

全体の仕立てや植え方、ラベルのデザインや、営業能力など、あらゆる要素が求められる営業とデザインを担当。お客様のニーズは時とともに変化しているので、流行をいかに取り込むかが重要です。販売は市場経由で行っています。

【栽培主力品種：モンステラ(サトイモ科)】

南アメリカ原産。5年~10年前から、サーファーやインテリアのモチーフとして人気が高く、1960年代(mid century modern)のテイストがリバイバルしてブームに。どんな家具にもあう角がない丸い葉が受けています。日の当たり方で特長である葉の切れ目ができるのですが、急いで栽培すると、切れ込みがはりにくいなどのノウハウが必要です。また、モンステラは渡辺農園が最初に栽培技術を確立しました。渡辺さんのお父さんは数々のコンクールで受賞をしていて、高い栽培技術を持っています。

【EM導入のきっかけ】

環境にいいので導入。今ではほとんど農薬を使わずに、コストも削減して栽培しています。エコだから売れるというわけではなく、腐敗をさせないことが一番重要。野菜などと違って、鉢物は見た目がすべたので、EMの効果はわかりにくいのですが、店頭での日持ちがいいので、お客様からの信用につながっています。

【EMの利用】

灌水時にEM活性液を混入して散布。ストチュウ(※)も作成して、微量要素と一緒に散布。

(※)酢と焼酎を加えてつくる病害虫対策用。EMを加えて作るとさらに良いものが出来ます。

事業主体

マルヨシグリーン 営業・デザイン 渡辺瞬

・農業花卉栽培 鉢物 ・圃場：1500坪(ハウス4棟)
愛知県田原市高松町新井 46-2 FAX 0531-45-3873

自然にもっとも近い栽培方法で、美味しくて品質の良いぶどうを栽培し、来園していただく方に提供したい



左が2代目中根賢さん、右が中根伸宏さん

マルタ園の園地面積は2ヘクタール。来園者は約10,000人(年間)。来園者が多いピークは9月第1、第2、第3日曜日の巨峰狩のシーズンです。園内には流行に合わせた数種類の品種のぶどうがありますが、休憩所の庭先には見事なリザマート(コカサス地方の品種でヨーロッパ系)が見事な枝ぶりです。



地下水にEM活性液を混入。スプリンクラーで散布



プールから釣り堀場の池はEMで浄化。排水も環境を浄化するのに役立ちます。



巨峰の種を均一に入れるのに重要な花前の房づくり。皆さん真剣に作業をしていました。

【活動紹介】

2代目の中根賢(まさる)さん(65歳)はぶどう栽培は45年以上のベテランで、現在は3代目の中根伸宏さんが栽培の中心。マルタ園へのEM導入は、三河湾浄化市民塾の篠原さんに、灌漑用の池が造成工事が原因で汚れたため、なんとかしたいと相談した事がきっかけでした。EM活性液を池に投入後、約1週間程で、茶色だった水がきれいな緑に変わったのを見て、EMは効果があると思ったそうです。

3代目の伸宏さんは、不耕起・草生栽培を目指して、自然にもっとも近い栽培を目指しています。園内は小さな生き物がいっぱい、豊かな生態系があります。

【EM施用】

①地下水を利用して、全部の園地にスプリンクラーを設置。地下水をくみ上げるポンプに、EM活性液を定量混入させているので、灌水時には必ずEM活性液を1000倍希釈で散布。50リットルタンクのEM活性液を10本以上使用。またSS(散布用乗用車)でもEM活性液を散布。

②園内にある、児童のためのプールの水にEM活性液を投入。汚れが付着せずに、落ちやすいので、清掃も簡単です。プールの水は、釣り堀用の池に排水されるので、プールに投入されたEM活性液が排水によって、ため池に入ります。池の水が排水される際にはEMセラミックスを入れています。

③堆肥へのEM活性液の施用。

【EMの効果】

花芽の状態が良く、花が柔らかい。糖度も高めめで美味しいとりピーターのお客様が増えています。

事業主体

マルタ園 2代目 中根賢(まさる)、3代目 中根伸宏(のぶひろ)
・観光農園 観光のお申込みは下記FAX
愛知県岡崎市駒立町クリギ55番地
TEL&FAX 0564-45-7515 (ぶどう園)

